**JSGO会員の皆様へ**

**IFCPC認定による教育コルポスコピストの育成に関するご案内**

国際子宮頸部病理・コルポスコピー連合（IFCPC）はIARC（世界保健機構：WHOの研究機関）と共同で、理論学習、構造化されたトレーニングおよび評価、そしてOSCE試験による認定を含む遠隔学習コースを提供しています。IFCPCは、その教育プログラムに基づいてコルポスコピーの臨床トレーニングを提供する個人を「トレーナー」、教育およびトレーニングを受ける個人を「トレーニー」と呼んでいます。トレーナーには、教育およびトレーニングプログラムの修了証明として認定証が発行されます。この認定証が、日本国内でも取得可能となりました。認定証を取得するには、トレーニーはトレーナーから指導を受ける必要があります。2024年現在、日本にはIFCPC認定のトレーナーがいないため、2024年から2025年の第1段階ではトレーナーの育成に重点が置かれます。2025年以降は、第2段階としてトレーニーの募集が行われます。トレーニーは原則としてトレーナーと同じ施設に所属し、直接の指導を受けることになります。IFCPCが指定する教育プログラムを修了した後、トレーニーはトレーナーになることができます。トレーナーは、新たなトレーナーの育成に専念することが期待されています。

**1. 2024年に募集されるトレーナーの要件**

1. 施設の要件および個々の年間症例数は、IFCPCの基準を満たしている必要があります（ギャップ分析シートの提出）。
2. IFCPCのeラーニングコースを修了すること（無料）。
3. 2025年7月に日本婦人科腫瘍学会（JSGO）主催で開催されるトレーナー育成コース（3時間、有料を予定）に現地参加すること。

**2. 2025年以降、トレーナーになるためのトレーニーの要件**

1. 施設の要件および個々の年間症例数は、IFCPCの基準を満たしている必要があります（ギャップ分析シートの提出）。
2. トレーナーと同じ施設に勤務していること。
3. IFCPCのeラーニングコースを原則1年以内に修了すること（費用: 500 USD）。
4. トレーナーの指導のもとでコルポスコピー・ログブックを作成すること。トレーニーは症例をログブックに記録し、トレーナーはログブックを確認し、トレーニーと症例について議論します。ログブックの確認はトレーナーの責任です。トレーナーとトレーニーの両者がログブックに署名する必要があります。さらに、能力評価フォームを記入しなければなりません。これらの書類はダウンロード可能で、すべての書類をIFCPCへ提出し審査をうける必要があります。審査に合格すると、トレーニーは英語によるOSCE試験を受験する資格を得ます。以下は、必要最低限の症例数です: ①トレーナーの直接指導のもとで15件のコルポスコピーを実施する（3件は高度病変でなければならない）。 ②トレーナーの間接指導のもとで50件のコルポスコピーを実施する（10件は高度病変でなければならない）。後者の50例については遠隔指導も可能で、トレーニーがコルポスコピー画像を収集し、所見、バイオプシー部位の選定、治療方針をトレーナーと議論することが求められます。
5. オンラインで実施される英語OSCE（客観的構造化臨床試験）に合格すること。

**追加の注意事項:**

2024年には約20-25名(ただし倍増の可能性あり)のトレーナー候補が募集されます。 トレーナーは、毎年1〜2名のトレーニーの教育に従事することが期待されています。 IFCPCは、トレーニーが1年以内にトレーニングを完了することを推奨しており、可能であれば多数の症例を取り扱う施設での実施が望ましいです。 eラーニングコースは日本語で提供さます。 認定証には有効期限がなく、更新は不要ですが、今後変更される可能性があります。 IFCPCはトレーニーに、1) コルポスコピー静止画像および2) 症例プレゼンテーションのビデオなどの教育資料を提供します。トレーナーとトレーニーによる教育システム以外にトレーナーになるためには３年に一度開催されるIFCPC総会において開催されるtrainers courseを現地受講する必要があります。2025年日本で開催されるtrainers courseは例外的に開催されるものであり、次回の開催は2026年パリ、２０２９年の北京での開催となります。ギャップ分析シートの記入例は別資料を参照してください。2024年提出のギャップ分析シートにあるHSIL（生検を伴うCIN2,CIN3）の最低症例数は年間２０例です（トレーナーおよびトレーニー１名担当分）。施設内のトレーニーが一人増えるたびに症例数は年間１０例上乗せが必要です。現在のところ、2024年の応募者が多数の場合には申告症例数が多い応募者を優先します。提出されたギャップ分析シートはIFCPCに送付され、IFCPC教育担当者によりトレーナーの適格性について審議されます。